

1. 開催日 令和5年8月17日(木)
2. 開催場所 株式会社ニューメディア 大会議室
3. 委員出席
 - 委員総数 6名
 - 出席委員 5名
 - 出席委員 高野正雄、吉田智之、鈴木純子
北野淑人、鈴木まどか
 - 放送事業者側出席者 伊藤優子(取締役米沢センター長)
金子真也(副米沢センター長)
松田典子(米沢センターコンテンツ制作課
ディレクター)
須貝 崇(米沢センターコンテンツ制作課係長)
渡部剛士(CCSスタジオ 専務取締役)
鈴木朗子(CCSスタジオ 制作係長)
4. 議 題
 1. 会社代表挨拶
 2. 御審議
 3. 報告
 4. その他
5. 議事の概要
 1. 開会
 2. 御審議
 - 「祝日のオープンスタジオ」
 - 昨年度10周年を機に新設したスタジオが広く見学できる環境になったことにより、より身近なラジオ局であることを目指し、オープンスタジオとアナウンスできる日を祝日に設定。番組の見学だけではなく、地域の方にラジオ出演していただき地域情報を発信する他、ゲームなどの企画に参加誘導し、地域の活性化につながる取り組みを実施。
 3. 報告
 4. その他

6. 審議内容

A委員

- ・スタジオに遊びに行ってみたいという好奇心を掻き立てる企画が必要
- ・外観のわかりやすさ、看板などのサインがないと、初めての人はわかりにくいし、入りにくい
- ・生で見たいなと思えるような目玉となるキャスティングはどうか
- ・知っている人が出ると耳を傾けたいくなる。地元の人が出演する機会が増えればよい

B委員

- ・リスナー参加型の企画は聞いていても面白いし新鮮で良い
- ・置賜版子ども電話相談のようなものがあれば面白いと思った

C委員

- ・ラジオ以外の周知方法で関心を持ってくれる人が広がるのではないか
- ・タレント（住みます芸人）さんをうまく活用し、タレントさんの活動の場を広げるとともに、盛り上げてもらえれば良いのではないか

D委員

- ・地域密着の番組作りがなされている
- ・オープンスタジオのことはまだ周知が足りないと感じるので、様々な周知方法をうまく活用してはどうか

E委員

- ・イベント等の子どもの参加は影響力がある。親子や学校、地域とタグを組んだ方法で、広がりや盛り上がりがあれば、オープンスタジオも発展的に盛り上がっていくのではないか。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

- ・ 次回開催の早めの告知を自社媒体やSNSを活用
- ・ 好奇心を掻き立てる、または子どもにスポットを当てた企画立案

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

令和5年8月23日（水） FM生放送で公表

令和5年8月23日（水） 自社ホームページに掲載

9. 次回の番組審議会開催予定

次回は令和5年11月16日（木）に開催予定